

知識探訪

多民族社会の横顔を読む

協力：日本マレーシア学会 (JAMS)

マレーシアの工業化を考える

穴沢眞 (小樽商科大学商学部教授)

1957 年の独立以降のマレーシアの経済発展をけん引してきた産業が製造業であったことに異論はないであろう。その製造業の国内総生産 (GDP) シェアが 2000 年頃をピークに急速に低下している。独立直後の 1960 年の製造業の GDP シェアはわずか 8.7% であったが、80 年には 19.2%、90 年には 26.5%、そして 2000 年には 36.0% に達した。その後、このシェアは低下を始め、17 年にはその数値は 23.0% となった。

先進国ではゆっくりと進行した脱工業化が、マレーシアを含めた中進国では急速に起こりつつある。マレーシアのように、十分な工業化が終わらないうちに製造業のシェアが低下する現象は、未熟な脱工業化または早期の脱工業化と呼ばれている。しかし、マレーシアの場合、製造業の生産額や就業者数自体の減少は起こっておらず、緩やかではあるが増加している。この点は先進国の脱工業化とは異なる。製造業の GDP シェアの低下はサービス産業に代表される第 3 次産業の急速な発展によると結論づけることは容易であるが、マレーシアの製造業は構造的な問題を内包しており、それらが政府が進めようとしている Industry 4.0 (Industry 4WRD) にも影を落としかねない。紙幅の関係でここでは構造的な問題のうち外資主導の工業化と人的資源 (含む外国人労働者) のみをとりあげてみる。

1980 年代、90 年代のマレーシアの製造業をけん引してきたものは海外からの直接投資であった。特に電機・電子産業に直接投資が集中していた。外資系企業による生産額は長年に渡り総生産額の 40% 以上を占めてきたが、最大で 50% を超えた年もある。近年、単発での大規模投資はあるものの、当時のような外資の大量の流入はすでに過去のものとなった。日本などの先進国からの直接投資は中国、そしてベトナムやインドというように、発展段階のより低い国々へと向かっている。その中でマレーシアが多くの投資を引き付けることは難しくなっており、生産拠点をマレーシアから他の国に移した企業もある。外資主導の急速な工業化は終焉 (しゅうえん) を迎えたが、これまで外資に依存していた製造業内では地場企業の成長が遅れている。特に中小企業の育成はさまざまな政策が講じられたが、全体の底上げには至っていない。

マレーシアの製造業の課題として高度なスキルを持った人材の不足が挙げられる。2015 年の工業センサス

によると製造業における高スキルの就業者 (マネジャー、専門職、エンジニアなど) の比率は 17.7% であり、全産業の数値、25.5% と比較すると見劣りする。逆に中スキル (事務職、オペレーターなど) は 75.1% と比率が高く、全産業の 60.7% を上回っている。そして、これらの数値はある程度、就業者の最終学歴と相関を持つといえる。製造業の就業者の学歴をみると大学院卒が 0.6%、大学卒が 6.9%、短大・高専卒が 8.6% であり、高学歴者の比率が総じて低い。マレーシア全体では大学卒が 11.9%、短大・高専卒が 9.8% であり、ここでも製造業はマレーシア全体の数値を下回っている。

外国人労働者に依存する体質も重要は課題である。マレーシアの所得水準、高齢化、低失業率と労働力不足が外国人労働者を不可欠なものとしている。マレーシア全体ではおよそ 200 万人の外国人労働者がいるといわれている。製造業は最も外国人労働者に依存している産業であり、日系企業でも地場企業でも工場現場では多くの外国人労働者をみかける。同じく 15 年の工業センサスによれば、製造業内の総就業者数 212 万人のうち、25.9% に当たる 54 万 8,000 人が外国人労働者であった。男女比は男性 73.9%、女性 26.1% で、女性は特に電機・電子産業や繊維・衣類産業に多くみられる。マレーシアの労働者がいわゆる 3K 職場を敬遠し、単純労働を中心に外国人労働者がその部分を補完する必要があるが、長期的な観点からは自動化の導入を遅らせ、技能の継承が滞るなどの問題点が顕在化する可能性がある。

< 筆者紹介 >

1957 年、神奈川県生まれ。北海道大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士 (経済学、北海道大学)。北海道大学経済学部助手、マレーシア国立マラヤ大学経済行政学部客員研究員 (1988 年、1993 年)、小樽商科大学講師、同助教授を経て現職。専門はマレーシアの経済発展、工業化政策。電機・電子産業や自動車産業、日系企業を含む多国籍企業の活動なども研究。2020 年 4 月より日本マレーシア学会 (JAMS) 会長。